

[育林第二研究室]B. スギザイノタマバエに関する研究 : 1. スギザイノタマバエ成虫の季節的变化に関する調査

汰木, 達郎
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

<https://doi.org/10.15017/1456300>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和42年度, pp. 61-62, 1968. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



2 スギザイノタマバエ成虫の季節的变化に関する調査

汰 木 達 郎

本調査は成虫の個体数の季節的变化を知るために下記の要領で実施した。

I 試験地の状況

- A 場 所 1 林班は小班内（おびすぎ、めあさ）
- B 試験個所 10 箇所
- C 試験紙の設置方法 蠅取りボンを樹幹（間隔10cm）に沿って地上約2m～3mの間につ
り下げておく。この際両端は樹幹に固定しておくこと。
- D 調査月日 毎週1回宛

II 調査方法

- A 個体調査に当つてはリボンの内側、外側に分けて成虫の付着数を記録する。
- B 調査後は同一個所に全じ要領でリボンを更新する。

III 結 果

本調査は下表に示す如く昭和42年8月より実施したため資料に乏しく、まだ結論は得られないが、今後継続してゆけば、成虫に対する防除の時季等について有効な結果が得られるものと思われる。

スギザイノタマバエの成虫個体数調査

(1 林班は小班内)

調査回数 調査月日 設置月日 資料 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	昭42 9. 6	9. 13	9. 20	9. 27	10. 4	10.11	10.16	10.25	11. 1	11. 8	11.15	11.22	11.29	昭43 12. 6	昭43 4. 5	4. 12	4. 19
昭42								内外	内外	内外	内外	内外	内外	内外	内外	内外	内外
1	8. 30	119	190	46	17	10	4	7	1 1	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	2 2	1 2
2	"	95	175	56	16	5	7	5	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 1	0 3
3	"	77	136	29	7	15	2	3	1 0	0 2	1 1	0 2	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
4	"	132	135	59	12	7	2	11	0 1	1 0	0 1	1 3	0 0	0 0	0 0	1 0	0 1
5	"	121	205	53	30	23	8	9	3 1	0 0	0 1	2 1	0 0	0 0	1 0	2 1	1 0
6	"	189	137	67	11	10	4	7	2 1	1 1	0 1	0 0	0 0	0 0	1 1	0 0	0 1
7	"	179	201	54	18	15	7	6	2 3	0 0	0 1	0 1	0 0	0 0	0 0	0 1	0 0
8	"	175	206	31	11	29	9	11	3 4	3 1	0 1	1 0	0 0	0 0	1 1	1 2	1 0
9	"	219	251	50	11	21	2	5	0 0	2 2	2 1	1 3	0 0	0 0	0 1	2 1	0 1
10	"	205	179	57	16	9	3	7	2 3	1 0	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0	1 1	1 1
計		1511	1815	502	149	144	48	71	14 14	8 7	4 8	0 4	7 9	0 0	4 4	10 9	5 9
									28	15	12	4	16	0	8	19	14

(註) 第15回調査資料は3月29日に設定したものである。

第14回と第15回の間が中断しているのは成虫の発生が見られなかつたためと積雪のため調査不能になつたことによる。